

## トヨタ車体、ダカールラリー2018で市販車部門5連覇を目指す

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 取締役社長：増井 敬二）のラリーチームであるチームランドクルーザー・トヨタオートボデー（以下、TLC）は、2018年1月6日にペルーのリマをスタートする『ダカールラリー2018 ペルー・ボリビア・アルゼンチン』の市販車部門に、当社が開発・生産を担うランドクルーザー200シリーズをベースにしたラリー仕様車2台で参戦し、5連覇に挑みます。

TLCは、新たに就任した杉浦一成チーム代表(トヨタ車体(株)常務役員)のもと、2017年大会でチームを市販車部門4連覇に導いた角谷裕司監督(トヨタ車体(株)広報室)が引き続き、指揮をとります。1号車ドライバーには2017年大会で部門優勝を果たしたクリスチャン・ラヴィエル(フランス)を、2号車には部門準優勝を獲得した社員ドライバーの三浦昂(トヨタ車体(株)広報室)を継続起用。市販車部門4連覇を達成したメンバーを中心に、2018年大会での5連覇達成に向けたラリー車の熟成とチームワークの更なる強化を図ります。

また、ラリー参戦活動を通じた『もっといいクルマづくり』に繋がる人材育成の推進を一層加速させるため、将来の社員コンビでのダカールラリー参戦を目指し、松永大司ナビゲーター候補(トヨタ車体(株)広報室)の育成プログラムを本格スタートさせます。

トヨタ車体は、ダカールラリーへの挑戦を通じて、ランドクルーザーファン、クルマファンの拡大に繋げるとともに、世界を相手に過酷な舞台で戦うことで、人とクルマを鍛え、もっといいクルマづくりを通して世界中のお客さまの暮らしに笑顔をお届けしてまいります。

### 1. チーム名

Team Land Cruiser TOYOTA AUTO BODY（チームランドクルーザー・トヨタオートボデー） ※通称TLC

### 2. チーム体制

(\*1:2017年4月25日時点)

体制	氏名	年齢(*1)	備考
チーム代表	スギノウ ｶｽﾞナ 杉浦 一成 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">新</div>	 56歳	1960.12.17生 トヨタ車体(株)常務役員 2017年4月よりチーム代表に就任。 「厳しいときこそチャレンジ、勝つために戦い抜く！」 の決意のもと、チームを支える
チーム監督	ｶｸﾀﾞ ﾂｼﾞ 角谷 裕司	 43歳	1973.11.5生 トヨタ車体(株)広報室 元ハンドボール全日本代表という異色の 経歴を持つ。2015年よりチームを率い、 冷静な判断力でチームを部門4連覇に導いた

体制		氏名		年齢 (*1)	備考
1号車	ドライバー	クリスチャン・ラヴィエール Christian Lavieille		51歳	1965.12.16生 TLC契約ドライバー オートバイのプロライダーから四輪車のドライバーに転向し、数々のクロスカントリーラリーに参戦。ダカールラリー2017では市販車部門優勝を果たし、チームの部門4連覇に大きく貢献
	ナビゲーター	ジャン・ピエール・ギャルガン Jean Pierre Garcin		54歳	1962.12.2生 TLC契約ナビゲーター TLC前身となるチームアラコ時代にナビゲーターとして活躍後、総合トップ10争いに加わるチームのナビゲーターを歴任。旧知の仲であるクリスチャンドライバーとのコンビで5連覇を目指す
2号車	ドライバー	ミウラ アキラ 三浦 昂		34歳	1983.1.26生 トヨタ車体(株)広報室 社員ナビゲーターとして2007年大会からTLCでダカールに参戦。2016年大会よりドライバーに転向し、2017年大会では部門準優勝を獲得
	ナビゲーター	ローラン・リシュルイター Laurent Lichtleucter		41歳	1976.2.16生 TLC契約ナビゲーター 世界各国のドライバーとのコンビを組んできた豊富な経験を活かし、社員ドライバー育成プログラムに大きく貢献
日本人 メカニック		ヤマダ ケンタ 山田 健太		32歳	1984.11.20生 福岡トヨタ自動車(株) 2017年大会では1号車担当メカニックとして初参戦を果たし、チームの部門4連覇に貢献。日本人メカニックリーダーとして、2度目のダカールに挑戦
		ニシムラ ヨシ 西村 勇樹		31歳	1985.11.4生 トヨタ自動車(株) 2017年大会よりチームに参加。トヨタではランドクルーザーの性能評価を担当し、ラリーの経験をもっといいランドクルーザーづくりに活かすことを視野に2年目の挑戦を迎える
		ノイリョウハイ 瀧井 亮平		29歳	1988.3.1生 福岡トヨタ自動車(株) 2017年4月よりチームに参加。ダカール2018デビューを目標に研修プログラムに取り組み、即戦力としての期待が集まる

新

※その他、メカニック・スタッフ含む 計20名体制を予定

### 3.社員ナビゲーター育成プログラムについて

	氏名		年齢	備考
育成候補者	マツカ タツシ 松永 大司		41歳	1976.4.14生 トヨタ車体(株)広報室 当社車両実験部にて市販車の静動的 性能評価をはじめ、様々な技術開発にも従事。 2017年1月よりナビゲーター育成プログラムに参加

### 4.ダカールラリー2018大会概要

開催期間：2018年1月6日～1月20日 (計15日間、14ステージ)

開催ルート：スタート … ペルー(リマ)

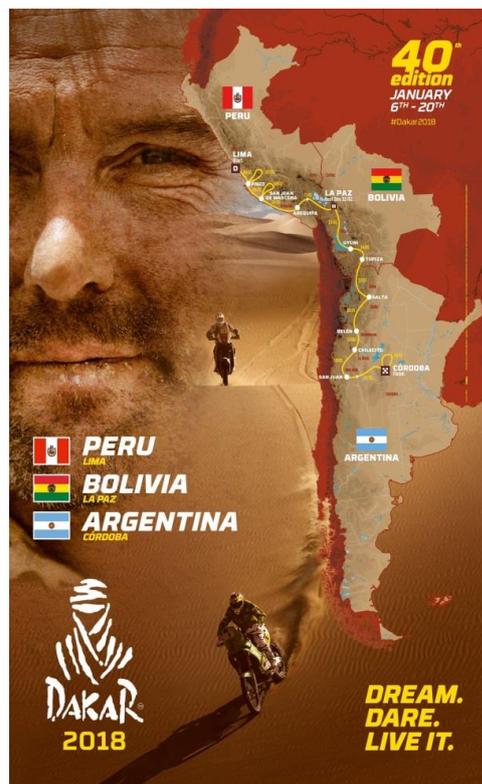
中間日 … ボリビア(ラパス)

ゴール … アルゼンチン (コルドバ)

総走行距離：約10,000km

2018年大会はダカール創設40周年の記念大会であり、それに相応しいドラマ性、競技性の高いルート設定とすることを主催者(A.S.O.\*2)は発表しています。2018年1月6日にペルーのリマをスタートし、序盤戦は美しく、過酷な砂丘群を抜けるルートが用意され、2018年大会のハイライトになると予想されています。その後は、ボリビアへ渡り、首都ラパスでの中間休息日(競技を行わない日)をはさみ、クルマにも人にも厳しい標高4,000m付近の高地での砂漠線が繰り広げられます。後半戦はアルゼンチンに渡り、気温40度を超すチレシト周辺の砂丘ステージや、2017年大会で多くの競技者がミスコースに苦しんだサン・ファン周辺の枯れ川を行くステージなど気の抜きどころのないルートが用意されています。

\*2)アフリ・スポーツ・オーガニゼーション(ダカールラリーを主催・運営)



#### 【参考1：17年度活動スケジュール (予定)】

2017年									2018年		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	→		→			→	→		→		
	海外テスト 【モロッコ】 (5/7-6/2)		シルクウェイラリー 【ロシア・カザフスタン・中国】 (7/7-7/22)			モロッコラリー 【モロッコ】 (10/4-10/10)	シェイクダウン 【フランス】 (11月上旬)			ダカール2018 【ペルー・ボリビア・アルゼンチン】 (1/6-1/20)	

#### 【参考2：TLCの過去の戦績】

開催年	1995-2004	2005-2008	2009-2017
使用車両	ランドクルーザー80 (1995-1998) ランドクルーザー100 (1999-2004)	ランドクルーザー100	ランドクルーザー200
成績	市販車ティールクラス 優勝7回	市販車部門優勝3回 (2008年大会は中止)	市販車部門優勝6回 (現在、部門4連覇中)
備考	アラコとして参戦	2005大会よりトヨタ車体として参戦	

## 【参考3：チームメンバーのコメント】

## ◆チーム監督 角谷 裕司コメント

次回はダカールラリー40周年の記念大会であり、大会主催者側もそれにふさわしい大会とすることを強調しています。それは、近年にない厳しい大会となることを示唆していると我々は受け取めています。加えて、次回のスタート地となるペルーで、TLCは優勝経験がありません。これまで以上に車両、チームともに強化していくことが求められますが、チームはすでに動きだしており、一人ひとりがやるべきことを積み重ねていけば、必ず市販車部門5連覇を達成できると確信しています。

## ◆2号車ドライバー 三浦 昂コメント

2018年大会においても私にドライバーを任せただけのことに感謝しています。応援してくださっているファンの皆さまの期待に応えるためにも、更なる飛躍を見せたいと思っています。2017年大会は準優勝という結果でした。当然、この先の目標は優勝しかありません。優勝を目指すには『社員』という一切の甘えを捨て、一流のドライバーとなる以外に道はありません。日本を代表する選手として本物のリードドライバーを目指すべく、より多くの経験を積みたいと思います。

以上

